



愛知環境カウンセラー協会報

令和5年度のAECAの行事予定

会長 齊藤 保彦

本年10月、AECAは創設25周年を迎えます（NPO法人化からは4月で20年）。本年度実施予定の各種事業につきまして、節目の年であることを意識し、実りのある活動を行っていきたくと考えています。

会員の皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします。また、協会の活動として核となるような事業など、実施したい企画がありましたら積極的にご提案いただけますと幸いです。本年度の行事予定は、以下のとおりです。

(1) 継続業務

・愛知県による三河湾環境再生プロジェクトへの参画（三河湾環境再生ワークショップ、三河湾大感謝祭でのブース出展）

- ・SDGs AICHI EXPO 2023 でのブース出展
- ・名古屋市主催：環境デーなごや でのブース出展
- ・ファラーデー勉強会の開催（年3回）

・会報の発行（年3回）、AECAニュースの配信（随時）

・EA21 地域事務局あいちの運営業務

(2) 新規業務

・食品ロス削減に関わる啓発セミナーの開催

(3) 20周年事業

・会員参加による研修・親睦旅行（1泊2日を予定）

愛知県・三河湾環境再生プロジェクトへの参画

会長 齊藤 保彦

(1) 三河湾環境再生ワークショップの開催

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の交付金にて実施します。このワークショップは2012年より継続開催しており、今年で11回目の開催となります（コロナウイルスの感染拡大による影響で2021年は開催中止）。

本年は、矢作川の上流域から下流域を目指すバスの旅を計画しています。その過程の中で、矢作川流域で活動しているNPO団体との交流も企画しています。開催時期は、9～10月を予定しています。

(2) 愛知県主催「三河湾大感謝祭」への参加

「三河湾環境再生プロジェクト」のメイン事業として、

2014年度より始まった標記大感謝祭に、同年に発足した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」の一員として引き続き参加します。今年度の大感謝祭は、10月に渥美半島の田原市内で開催される予定です。

AECAは、同クラブの企画するイベントに参加するとともに、当協会のブースを開設する予定です。

○スタッフ募集

上記各種事業の運営、参画におきまして、ご協力いただける会員の皆さまを募集いたします。是非、スタッフとしてご参加、ご協力いただき、協会の活動を盛り上げていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

環境カウンセラー研修報告

会長 齊藤 保彦

2022年度の環境カウンセラー研修は新型コロナウイルス対応のため、オンライン形式での開催になりました。

受講は開催期間中ならいつでも視聴できますので、受講しやすい環境といえます。また、昨年度に続き、中間段階でオンライン形式で講師と参加希望者（人数限定）の交流会が設けられたことは有意義だったと考えられます。

運営業務は2020年度以降、「環境カウンセラー全国連合会（ECU）」（AECA加盟）が受託していますが、初年度からオンライン形式での運営が継続しています。ネット環境が無く参加ができない方への対応が今後の運営課題です。

研修の内容

○開催期間：令和5年1月15日～1月31日

期間中、全ての講演を視聴可能

・オンライン交流会：令和5年1月22日（日）午後、講師と受講者によるオンライン交流会

○開催方法：研修は講演録画のオンライン視聴

○対象：全国全ての環境カウンセラー

○講座（研修1，研修2，研修3）の内容

◆研修1：実務スキル向上講座（各講座45～60分程度）

○研修の修了証書及び受講確認方法：研修の修了証書は、「研修1：実務スキル向上講座」、修2：最新知識取得講座から各1講座の計2講座以上受講した方に授与されます。受講したかは、アンケート提出により確認。

○修了証授与修了証の授与：アンケートを提出するなど、受講要件を満たした受講者に対し、メールで受け取る形（必要に応じて各自で印刷する）になりました。

No	テーマ	講師
1	インタープリテーションスキル	金沢大学 融合科学系 准教授 山田 菜緒子
2	ファシリテーションスキル	公益財団法人北海道環境財団 溝渕 清彦
3	SNSスキル	Shikama.net 代表 志鎌 真奈美

◆研修 2：最新知識習得講座（各講座 45～60 分程度）

No.	テーマ	講師
1	地域循環共生圏づくり	信州大学 経法学部 特任教授 中島 恵理
2	IPCC「土地関係特別報告書」から食料・水・生態系と調和する気候変動対策を学ぶ	国立研究開発法人国立環境研究所 地球システム領域 領域長 三枝 信子
3	再生可能エネルギーと地域再生	京都大学大学院 経済学研究科 教授 諸富 徹
4	海洋プラスチックごみ問題	東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授 内田 圭一
5	生物多様性保全と地域のビオトープづくり	ビオトープ・ネットワーク中部 会長 長谷川 明子
6	食品ロス削減推進のために	NACS消費生活研究所 副所長 浅野 智恵美

◆研修 3：特別研修「SDGs 環境講座の事例発表」（各講座 30 分程度）

No.	テーマ	講師
1	目標4：ESD for 2030	環境カウンセラー全国連合会 環境教育部門責任者 佐々木 進市 環境教育委員長 一條 美智子 その他各分野の環境カウンセラー
2	目標6・14：水域での環境保全活動	
3	目標13：気候変動対策	
4	目標15：陸域での環境保全活動	

「講師と研修参加者代表とのオンライン交流会」報告

令和 4 年度環境カウンセラー研修の期間中の 1 月 22 日（日）講師とのオンライン交流会が行われ、その模様は、当日 YouTube でライブ配信、後日研修受講者に録画配信されました。オンライン交流会には AECA から多賀 吉令氏（研修受講者）と浅野 智恵美（研修講師）が参加しました。交流会参加の感想文を以下に記します。（浅野 智恵美記）

専門家とのトークは初めての貴重な体験でした

交流会に入る前に司会者である環境カウンセラー全国連合会の佐々木 進市氏より研修参加者からアンケートのあった事項について概要説明があり、交流会は主催者である環境省環境教育推進室 室長補佐 井上由美子氏より挨拶がありました。続いて講師陣の自己紹介に移り、研修 1 の Shikama.net 代表 志鎌 真奈美氏、研修 2 の信州大学経法学部 中島 恵理氏、NACS 消費生活研究所 副所長、浅野 智恵美氏他 2 名、研修 3 の筑波大学教授 田村 憲司氏 他 3 名の方々から自己紹介があり、最後に研修参加者として愛知県の奥村 昇次氏他 9 名が自己紹介を行い、フリートークキングがスタートしました。なおトークの内容に

多賀 吉令
についてはここでは省略させていただきますが、お聞きしたい方は ECU の事務局の方に問い合わせをお願いします。

このような専門家とのトークは私自身初めてであり、貴重な体験をさせていただきましたことに感謝しております。しかしながら、質問していることに対して的確な回答をいただけなかったことは残念でした。当日専門の方が出席しておられなかったことが原因とは思いますが、反省点として事前に質問内容を提示しておいて、当日専門家等から回答していただく形にした方がいいと感じました。

今後の参考になるヒントが沢山見つかりました

私は環境カウンセラー研修の講師として「減らそう食品ロス～私たちに出来ること～」をテーマにお話しました。交流会には全国から講師と受講者 10 名の環境カウンセラーが参加されました。

交流会は環境省大臣官房総合政策課環境教育推進室 室長補佐のご挨拶から始まり、講師への質疑応答を含め、画面越しに活発な意見交換が展開されました。

浅野 智恵美
ご自分の環境カウンセラー活動を積極的にお話くださる方もいらっしゃり、2 時間があっという間に過ぎました。お陰様で、今後の参考になるヒントが沢山見つかりました。

このような貴重な学びの機会をいただけましたことに、深く感謝しています。

あいち生態系ネットワーク協議会関連
知多半島生態系ネットワーク協議会報告

2022 年度の第 2 回総会とフォーラムが 2022 年 12 月 23 日（金）に大同大学（東海市）で開催されました。総会是对面のみ、フォーラムは対面とオンラインの併催で行われ

ました。
総会議題：(1) 2022 年度 協議会事業の活動報告について、
(2) 2022 年度 協議会のスケジュールについて

齊藤 保彦

総会報告:2023 年度 協議会役員及び事務局の体制について、大東 憲二会長が 2023 年 3 月に大同大学を退職されることに伴い、同年 4 月から事務局が大同大学から日本エコロジスト支援協会に代わることが報告されました。

役員の変更及び選任:副会長は、神野 悦夫氏の退任(2022 年 9 月 7 日)、北村 秀行氏の就任(同 9 月 8 日)が報告されました。

フォーラム (3 部構成)

第 1 部 SPECIAL STAGE (ネイチャーポジティブでカーボンニュートラルな世界を目指して)

第 2 部 知多半島ナウ Report (知多半島における生物多様性活動の先進事例と、ネイチャーポジティブの関係性について徹底考察!)

先進事例として、AECA の活動事例(三河湾環境再生プロジェクトへの参画状況など)について事前取材によるビデオ映像が流されました。その後、事例紹介された AECA を含む 3 団体に対し、質疑応答が行われました。

第 3 部 知多半島ミライ Action (知多半島のミライを担う若者団体が、彼らの取組や未来への提言を発表)

東部丘陵生態系ネットワーク協議会報告

木下 まるみ

第 15 回東部丘陵生態系ネットワーク協議会総会が 2023 年 3 月 23 日(木) 午後 1 時から オンライン会議で開かれました。

役員の変更: 会長 吉田 耕治氏(金城学院大学 准教授)、副会長 増田 理子氏(名古屋工業大学 教授)、副会長 富田 啓介氏(愛知学院大学 准教授)が再選されました。

令和 4 年度事業報告: 実施した生物多様性保全のための取組として、あいち自然再生カレッジ及び生物多様性モニタリング調査と、協議会構成員の取組紹介・新聞掲載などの活動実績が報告されました。

令和 5 年度事業計画: あいち自然再生カレッジが、テーマ「河川の生態系を知る」として、生物多様性を育む河川をフィールドに、一般参加者を始め多様な主体が 様々な河川の生き物調査を実施、河川ごとに比較・検証することにより、水質や生物の違いによって生き物の棲みやすさや多様な生態系について学んでもらうとともに、市町村や 企業が取組む生物多様性保全活動を紹介する 4 つの講座において、フィールドワークや講座を開催することになりました。

協議会各構成員の取組案も紹介されました。

尾張西部生態系ネットワーク協議会総会報告

横井 利文

2022 年度年次総会が 2023 年 2 月 27 日に蟹江町産業文化会館で開催されました。長谷川会長より開催挨拶が行われた後、以下の議事について説明、承認されました。

議事 1 2022 年度事業報告については、活動サポート制度・活動支援金制度、在来野草の種子ネットワーク事業、協議会交流促進事業、広報活動の強化、生物多様性モニタリング調査等。

議事 2 2022 年度決算。

議事 3 2023 年度事業計画案については、活動サポート

制度・活動支援金制度、在来野草の種子ネットワーク事業、環境学習の実施、協議会交流促進事業、広報活動の強化。

議事 4 2023 年度予算案。

議事 5 役員選任については、長谷川 明子氏(ビオトープ・ネットワーク中部 会長)が会長に、鷺見 哲也氏(大同大学 教授)が副会長に再任されました。

今後、尾張西部生態系ネットワークの人的交流を深め、ネットワークを強化していくとの説明がありました。

大蛇退治

横井 利文

瀬戸市に流れる蛇ヶ洞川は愛知県で唯一のオオサンショウウオ(絶滅危惧種、特別天然記念物)の自然繁殖地として知られています。オオサンショウウオは日本固有種で世界最大の両性類、スイスで 3000 年前に発見された姿と同じで生きた化石と呼ばれています。是非、未来に向けて生息地として残していって欲しいです。

蛇ヶ洞川と同じように蛇が付く地名、川は大きな水害や土砂崩れなどに悩まされてきた経緯があり、水神が暴れ、これを治めるために各地で神社が祭られ、物語が伝えられています。

有名なのは、古事記の神話の中で出雲国のクシナダヒメがヤマタノオロチ(八岐大蛇)に食べられるのを助けるためにスサノオがヤマタノオロチを酒に酔わせて退治する物語があります。この話は、氾濫を起こしていた川(ヤマタノオロチ)が水田(クシナダヒメ)を飲み込もうとする

が、スサノオにより治水されて平和になったということだそうです。このように大蛇を退治して平和になる物語は各地に伝えられています。

くねくね曲がった川は蛇に似ているため、川を蛇に例えて物語が作られたと考えられます。蛇という名前が付いた場所では、土砂崩れ危険区域(ハザードマップ)に指定されていない箇所であっても過去に災害にあった場所もあるため注意が必要です。また、蛇の夢を見ると、良いことが起こると言われます。蛇は何度も脱皮を繰り返して成長していくことから、心身とも新しい旅立ちを迎えることを表しています。後は金運アップです。

これからは、大蛇を退治するだけではなく、大蛇とも共存することが大事な世の中です。災害を防ぐ目的で河川改修を行うだけではなく、生き物のことも考えた改修が必要です。

私は大蛇退治よりも、蛇の夢を見て金運アップ!です。

EA21 地域事務局の近況

事務局責任者 石川 創

これからエコアクション 21 の取り組みを始めたいと相談にみえる事業者様になぜ取り組もうと決められたのかを伺ってみると、環境経営に取り組んでいることが入札の加点になる、優良事業者の認定を受けるための条件の一つになる(産業廃棄物処理業の場合)、取引先から環境経営に取り組んでいることを求められている、環境負荷を下げるのがこれからの事業活動に不可欠であるなど、動機は様々です。最初のうちは一応動機が達成されればそれで良いと考えられ

ていても、コミュニケーションを良くして全員参加で、継続的に改善を目指しながら目標を達成しようと取組を進めていくことで、環境負荷が削減(経費も削減)できたばかりでなく、社内が活性化した、人材が育ったなど、取り組んで良かったと喜んでいただける声も耳にすることが多くなっています。このような声を聞くにつけ、これまでエコアクション 21 の普及活動を進めてきて良かったと嬉しくなります。

星空の記(XI) 悠久の世界

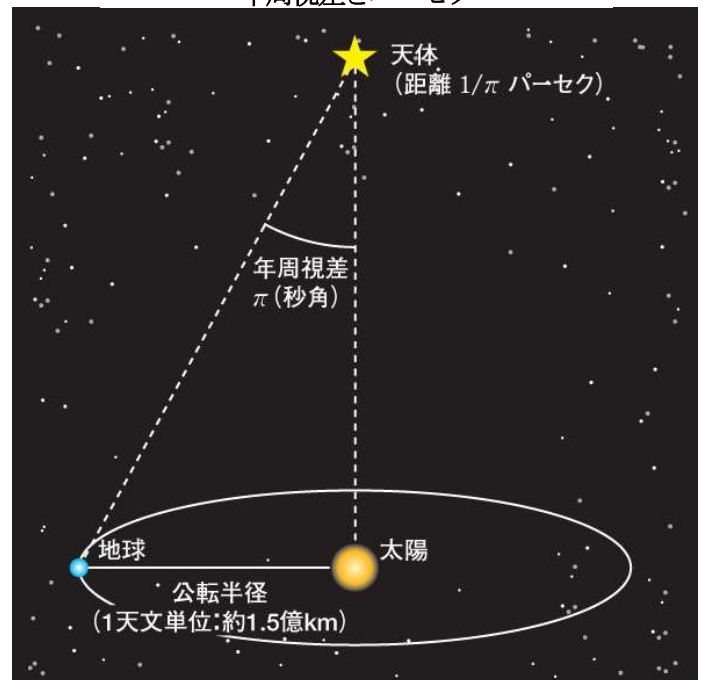
佐藤 正光

若かりし時には一人ぼんやりと星空を眺めていると、仕事等で疲れた時でも心の和みを感じたものですが、視力も体力もめっきり衰えた傘寿に近い昨今は、書籍やネットのモニターによる悠久の星空散歩で心の空白を埋めています。今回は悠久に関連した数値、時間、距離について記します。

穏を祈願して仏壇の前で一同が正信偈を誦読するのを年中行事とし、コロナ禍でも欠かさず実行しています。

年周視差とパーセク

まず数値について、日常生活で巨大な数や桁数の多い数を指す時に「天文学的数字」と称しますが、べき乗で表示する代わりに接頭語を用いる場合もあります。2022 年、日本時間の 11 月 18 日、フランスのベルサイユ宮殿で開催された第 27 回国際度量衡総会で、国際単位系(SI)の接頭語について、新たに 10^{30} を表すクエタ(quetta)、 10^{27} にロナ(ronna)、 10^{-30} にクエクト(quecto)、 10^{-27} にロント(ronto)の 4 つが採択されました。また、学校教育では円周率 π の値を 3.14 と教えますが、 π は無理数で小数点以下の数がランダムかつ無限に出現します。今では 100 兆桁まで計算されているそうですが、正確さの必要なアメリカ航空宇宙局が実際に使用している最高精度の計算でも小数第 15 位まで、存在し得る最大のサイズである宇宙の半径の円周を最も単純な原子である水素原子の直径 0.1nm 程の誤差しか生じないよう正確に計算するにも、小数点以下 39 桁か 40 桁で十分とのこと。



天体の距離 | 理科年表オフィシャルサイト (rikanenpyo.jp)

次は時間について、日常語の「未来永劫」や俚諺に言う「亀の甲より年の劫」、或いは落語「寿限無(じゅげむ)」に出る「五劫の擦り切れ」の「劫」は、梵語の kalpa (劫波)の音略で、仏教では数がとても数えられないくらい非常に長い時間を言います。現代科学では宇宙開闢の 138 億年が最長時間ですが、劫の長さを仏典では一説に、44 里四方の大石を天人の羽衣で百年に一度払い、その大きな石が摩滅して無くなってもなお「一劫」の時間は終わらないと譬えています。

最後に距離としてパーセクを取り上げます。パーセク(parsec、記号:pc)は parallax(視差)と second(秒)の連結語で、上図のとおり、年周視差が 1 秒(角度で $1/3600$ 度)に相当する距離、即ち、1 天文単位(地球と太陽との平均距離、astronomical unit、記号:au)の長さが 1 秒角の角度を張るような長さを 1 パーセクと定義し、3.259 光年(光年は光の速度で 1 年間に進む距離、約 9 兆 4600 億 km)に等しい距離です。恒星を 10pc の距離に置いた時の明るさが絶対等級になり、パーセクは天文で距離を表現するのに光年とともによく使用されます。

親鸞の著した教行信証行巻の末尾に収録されている七言しょうしんねんぶつげ百二十句より成る正信念仏偈(正信偈)の 9 句目に、ごこうしゆいししょうじゆ「五劫思惟之摂受」の一句があります。

「法蔵菩薩は五劫というとても長い時間をかけて思惟して(四十八願の)願いを建てました」と意識されていますが、筆者の家では盆と正月に一族が集まり、先祖供養と各家族の平

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、或いは大地震など世界を揺るがす不幸な事件の多い中、悠久の世界に浸れる余裕ある時代の到来を希求しています。

気候変動探偵局 生き物大移住計画を調査せよ ～中部7県広域ミッション2022の調査から思うこと～

中島 国輔

私の住む三河南部地域のセミは、昔はアブラゼミが主でしたが、今はクマゼミが主になっています。昔は見ることのなかつ

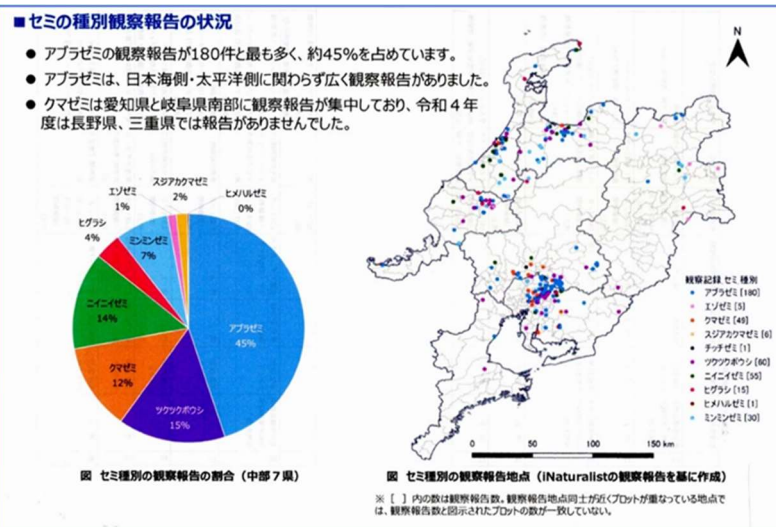
生き物は住むところを変えるのではと言われていました。住むところを変えるかどうかには、まず、何年も続けて、広い範囲で、生き物を見つけたという報告をたくさん集めて、分析をすることが大事です。

環境省生物多様性センターにおいて、身近な生き物調査が昭和48年度から始まっており、最近では中部地方環境事務所環境対策課が「令和4年度に気候変動探偵局生き物大移住計画を調査せよ

～中部7県広域ミッション2022の調査について～」を実施しました。令和5年2月15日にオンラインセミナーで結果報告説明があり、セミに関する調査結果*1では、クマゼミは愛知県と岐阜県南部に結果報告が集中していることに改めてびっくりしています。

ここからは私後期高齢者からの一提案ですが、自然系がメインの若手環境カウンセラーを軸に定点観測を会員参加で実行しませんか。座学でなく、自然から教えられることが多くありますし、会員同士の親睦も図れます。協会も20年の歴史がありますので、その経験を今後に生かすためにも、このような催しに積極的に参加されることを希望します。なお、事務局から令和5年度も実施予定と聞いています。

注1 https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action_plan/file/chubu/01-03.pdf



た「ナガサキアゲハ」が北上し、庭先でも見つけられる時代です。夏は驚くほど暑い日があり、以前に比べて気候が変化していることを実感しています。

これを「気候変動」と言っていますが、私は「気候危機」のほうが実感として合っていると思います。気候変動に合わせて、

地球温暖化に関する中部カンファレンスについて

中島 国輔

環境省中部地方環境事務所では、自治体、事業者、地域や家庭で地球温暖化対策を推進している、または実践しようとしている者を対象に、第1回の地球温暖化に関する中部カンファレンスを8年前の平成27年1月16日に開催し、現在まで開催されています。

途中、コロナ禍にて、19回目の令和2年3月12日が中止になり、12月9日にオンライン開催されました。20回目も令和3年11月26日オンライン開催でした。私自身の聴講状況は皆勤とはいかず、他の用務と重なった2～3回は欠席しました。

今回は、令和5年1月19日にメタバースによるバーチャルカンファレンスで実施されました。案内は過去の参加者で地域課題の解決と脱炭素に向けた取組をしていて、中部地方環境事務所がメールアドレスを把握している者に発信されました。私は午後に住居する岡崎市の脱炭素先行地域事例紹介があったので聴講しました。その内容はホームページにアップされると思っていましたが、中部カンファレ

ンスの事務局の話では、このメタバースによるバーチャルカンファレンスはホームページに載らないとのことで、幻のカンファレンスになりそうです。

今回のカンファレンスの内容には、「地域課題の解決と脱炭素に向けての協働の取組」をテーマに、地域の脱炭素を担う事業者の方々の講演(リコー等4事業者の講演)と脱炭素先行地域事例紹介(愛知県岡崎市)、及びバーチャル空間内での展示紹介等がありました。

事務局の話では、従来の形式の中部カンファレンスを遅くとも今秋には開催したいとのことでした。

令和5年4月15日～16日の北海道札幌市で開催された「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」の結果が出され、IPCC第6次評価報告書の総合報告書も令和5年3月20日に公表されています。このように地球温暖化に関する最新の情報が盛り沢山ありますので、次回の中部カンファレンスが今から楽しみです。

「あいちSDGs 環境プラットフォーム」について

齊藤 保彦

愛知県内で行われているSDGs達成に向けた環境面の取組をデータベースとして整理し、検索・閲覧機能を設けたオンライン上のプラットフォームです。様々な団体の取組を可視化し、連携や価値共創を促すことで、SDGs達成に向けた取組の拡大、向上、活性化を目指しています。

プラットフォームを形成しているのは、県民、自治体、企業、大学、金融機関、NPOとなっています。なお、AECAは、このプラットフォームに登録しています。

登録団体ができること：発信する：自らの取組を写真や動画を用いて対外的に広くPRできます。**つながる**：団体間でマッチング希望情報の受発信ができ、新たなパートナー

との提携やコラボレーションが図れます。**ステップアップ**：登録内容に応じて自らの取組レベルを把握でき、次なるステップに向けた取組のステップアップが図れます。

閲覧者ができること：探す：業種や企業規模、取組分野等、ユーザー目線の検索機能により、環境に関する取組情報をピンポイントで得られます。**知る**：様々な団体のSDGsに関する経営方針や環境面の取組を知ることができ、自らの行動・取組の参考にすることができます。

参加する：愛知県の環境に関する施策やイベント情報を知り、参加することができます。

*ホームページ <https://aichi-sdgs-epf.jp>

AECA だより

山川 幹子

3月11日、「国内最大級の産業廃棄物の不法投棄があった香川県土庄町豊島（てしま）で、2023年3月10日、投棄現場の整地工事が完了し産廃処理事業が終了した」という情報に接しました。

瀬戸内海に浮かぶ小さな離島に1970年代後半から10年以上にわたって我が国最大級の50万トンの産業廃棄物が不法投棄され、これに対してわずか1400人の島民が丸となって不法投棄業者、排出業者、そして監督責任のある香川県と闘いました。その後、2000年6月に豊島住民と香川県との間で公害調停が成立し、不法投棄された産業廃棄物は完全撤去されることが決定され、豊島は再生に向けて歩みを始めました。

日本のごみ問題の原点とも言われているこの島で、「二度と同じ過ちを繰り返さないために共に学びましょう」と開催された『豊島・島の学校』に参加した折、元豊島弁護団団長*1

の故中坊公平氏が講演の中で、この事件の解決をめざして闘った悲しくも勇敢な島民の姿を涙と共に語られ、本当の心の豊かさを訴えかけられた姿に心揺さぶられる感動を覚えました。この問題を契機に廃棄物処理法が改正され、自動車リサイクル法も制定されました。

私たちが、大量生産・大量消費・大量廃棄という社会の中で享受してきた「ものの豊かさ」と引き換えに、失ってきたものの大きさを改めて考えてみたいと思います。

*1 豊島産業廃棄物不法投棄事件住民側弁護団団長

○ 今後の予定

- ・5月21日（日）通常総会（ウイルあいち）
- ・6月3日（土）役員連絡会議（本陣共用会議室）
- ・7月2日（日）役員連絡会議（本陣共用会議室）
- ・9月3日（日）役員連絡会議（本陣共用会議室）

ファラデー勉強会の報告とご案内

浅野 智恵美

2022年度第3回ファラデー勉強会を、2月5日（日）に開催しました。コロナ禍、今回もAECA事務所の会議室とZoomオンラインをつなぎ、ハイブリッド形式で行いました。講師は当協会会員であり、環境コンサルタントの森 博明氏。テーマ1「環境アセスメント制度は、この地域の自然環境の保全に役に立ってきたか」テーマ2「都市化は、気候や住民の生活環境にどのような影響をもたらすか」について、図や写真を示し、模式図や解析データを用いて説明してくださいました。受講者の皆様と、多角的に学ぶことができました。

2023年度第1回ファラデー勉強会は、7月2日（日）10:30～開催します。講師は当協会会員の眞野 勲氏です。眞野氏は、2016年4月から「子ども食堂」を瀬戸市で企画運営されています。「バタフライエフェクト～まんぷくこどもカフェ」と題し、お話くださいます。バタフライエフェクトとは、小さな変化が時間の経過とともに大きな変化になることを意味します。

皆様、ぜひご参加ください。

テーマ1 「環境アセスメント制度は、この地域の自然環境の保全に役に立ってきたか」

テーマ2 「都市化は、気候や住民の生活環境にどのような影響をもたらすか」

森 博明

私は環境コンサルタント会社を退職後、現在、モリコロパーク内の愛知県環境学習施設「もりの学舎」でインタープリター（森の案内人）をしております。私が本講演をお引き受けすることになったのは、愛知環境カウンセラー協会の主催で2022年7月に開催された「環境教育インストラクター応募資格取得セミナー」の場で、インタープリターの先輩でもある浅野智恵美さんからお声がけをいただいたことによります。

テーマ1では、国内外の環境問題の歴史を振り返ったのち、環境影響評価法制定に至る経緯、手続きの要点の説明に続き、この地域で実施された藤前干潟と愛知万博のアセスを題材として、その概要を解説しました。私のように環境アセスメントを生業とする人間にとって、この二つのアセスの結果（自然環境の保全のために計画を中止または大幅変更した）は衝撃的でした。当時、免罪符と揶揄されていた旧制度に基づくこれらのアセスが、公布されて間もない環境影響評価法

（当時未施行）を意識しつつ、住民、自治体、環境保護団体、学者、関係省庁の様々な思惑が入り乱れる中、不完全ながらもアセスメント制度の本来の役割が機能したといえる極めて意義深い事例と考えています。

テーマ2では、当地域の暖候期の代表的な局地風である海陸風が、都市化に伴い形成されるヒートアイランドにより気温の上昇や大気汚染物質の拡散阻害を招き、生活環境が悪化する仕組みについて概説し、現状を再認識いただくと共に、この地域で実際に行われている様々なヒートアイランド緩和対策について紹介しました。

講演にあたっては、「見やすく」「わかりやすく」「メリハリをつけて」を特に意識したつもりですが、ご聴講下さいました皆さまのご感想を、是非、お伺いしたいと考えています。



ファラデー勉強会の様子（名古屋本陣、会議室）

森 博明氏：オンライン

伊勢湾台風から 60 年～防災・減災を考える～ (X) —災害からの避難に関して—

野田 珠生

伊勢湾台風 60 年目を契機として 2019 年から始めたこの連載も 10 回目となりました。今回は前号に続き「誰一人死なない防災」に関し、「災害からの避難」を中心に述べます。

VII 自然災害に対する対策—ハード対策とソフト対策

自然災害に対する対策としては 2 つに分けられます。一つは何らかの構造物を設置することによる被害軽減手法（ハード対策）と、もう一つは構造物によらない被害軽減手法（ソフト対策）です。ダム、堤防、耐震補強などハード対策には多額の費用が必要で、その費用を使ってもいつ必要になるかわからないまま老朽化する、想定を超える災害には対応できない、定期的な補修が必要等の問題があります。これに対し、ソフト対策については、ハード対策に比較し、経費が少額である、利用者との調整により理解が進み、災害後の計画変更も住民との話し合いで進められる等の利点があります。また、日頃からの防災教育や避難訓練もソフト対策といえます。災害対策はこのハード対策とソフト対策を上手く組み合わせて進めていくことが重要です。

VIII 避難のあり方—「避難勧告等に関するガイドライン」の改定

国はさまざまな災害時に住民に対し、避難に関する情報を発信し、安全な場所への避難を促してきましたが、2018 年の「平成 30 年 7 月豪雨」では死者等が 271 名となり、避難に関する情報を発出しても、避難しない、できない人々がいることを痛感し、中央防災会議の下に設置されたワーキンググループでは目指す社会として「住民が、『自らの命は自らが守る』意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援するという住民主体の取組強化による防災意識の高い社会を構築する」という方向性を示しました。

これを踏まえ、2021 年 5 月にこれまでの「避難勧告等に関するガイドライン」を名称を含め改訂し、「避難情報に関するガイドライン」(2022 年 9 月更新)^{*1}とし、住民等が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を 5 段階の警戒レベルに整理し、わかりやすく情報が伝わるよう改善しました。

2019 年 10 月の台風第 19 号でも、避難しなかった、避難が遅れた等により 108 名の死者等が出たことから、国は 2021 年 5 月 20 日から 5 段階の警戒レベルは変更せず、警戒レベル 4 の「避難指示」と「避難勧告」の 2 種の避難情報を「避難指示」に一本化し、警戒レベル 4 までに必ず避難することを明確にし、警戒レベル 3「高齢者等避難開始」を「高齢者等避難」に、あわせて高齢者等でなくても、「災害前に予定していた外出行動を見合わせる、避難の準備を始める、危険を感じたら自主的な避難のタイミングである」としました。

また、災害時における避難行動について、「行政が指定した場所等への立退き避難」、「屋内安全確保」、「緊急安全確保」等の避難に関する行動について、普段から災害の種類や程度ごとに予め家族や近隣住民で話し合っておくことも内容としました。さらに、住民が避難行動を判断する際に参考となる各種警戒レベル情報等の入手手段や活用方法等について「避難行動判定フロー・避難情報のポイント等を記載したパンフレット」^{*2}を作成し、「避難行動判定フロー」につい

ては、緊急時に速やかに適切な行動が取れるよう 2020 年 9 月に LINE 公式アカウント「内閣府防災」に開設しました。前号で触れた中央防災会議委員で「平成 30 年 7 月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」の座長を務めた片田敏孝氏は著書『人に寄り添う防災』で、「避難しない人はそれなりの理由があります。「避難に際して困難があってもそれを押しつけてでも避難しようと思うそれなりの動機づけが必要」、「防災が実効性を発揮するためには、人々の心に寄り添うことが重要です」と述べています。



(図)避難指示改正版 (2021 年 5 月) (裏面省略)

IX 避難の妨げになる「正常性バイアス」・「同調性バイアス」の心理

「正常性バイアス」とは、多少の異常事態が起こっても、それを正常の範囲内としてとらえ、心を平静に保とうとする働きのことです。この働きは、人が日々の生活を送るなかで生じるさまざまな変化や新しい出来事に、心が過剰に反応し、疲弊しないために必要なものです。

しかし、災害時にはこの働きの度が過ぎてしまうと、自宅が浸水するといった事態の際にも、それを異常と認識せず避難などの対応が遅れてしまった、避難が必要となった人びとや避難を誘導・先導すべき人たちに正常性バイアスが働いたため、被害が拡大したといった例が多くみられます。今までは大丈夫だった、今回も大丈夫だろうと考えず、避難行動を起こし被害を防ぐことが求められます。

また、「同調性バイアス」とは、どのように行動してよいか迷ったときに周囲の人と同じ行動を取ることが安全だと判断する心理傾向のことで、「多くの人がそう考えたり行動

したりするのであれば、それが正しいのだろう」と判断するというもの。災害の発生時で、周囲の人がその場を離れない、危険を回避する行動を取らないといった状況であればそれに同調してしまい、避難や初動対応の遅れの原因となることがあります。災害時に避難行動を起こすことは気力や体力が必要で、避難が本当に正しい判断なのか迷ってしまう場合も多く、「正常性バイアス」や「同調性バイアス」の状態を保って今のままでいるほうが楽なこともあります。自治体・近隣住民からの呼びかけやテレビ・ラジオなどの情報で判断し、避難等の行動を起こすよう日頃から心がけることが求められます。

X 「釜石の奇跡」は「奇跡」ではない一日頃からの「知識・姿勢の防災教育」の結果である

東日本大震災に襲われた釜石市で、「小中学校に通う子どもたちの全員が避難し、99.8%が無事だった」という事実は「釜石の奇跡」と報道されました。しかし、これは奇跡ではなく昔から津波で多くの被害者を出したこの市で、日頃から学校や地域で「防災教育」、「防災訓練」、「震災の伝承学習」を重ねてきた結果といえます。市の鶴住居（うのすまい）地区の中学校の生徒は、小学生の手を引いたり、リアカーに乗せたりして避難所に向かいました。しかし、震災前に避難場所と定められていた場所に来ると裏の崖が崩れかけていたのを見た中学生が「先生、ここは危ない！もっと上に行こう！」と声をかけ急遽、元の避難場所よりも高台の介護福祉施設に避難を始め、中学生の声かけによって、保育園や高齢者施設では職員と一緒に園児や高齢者を誘導し多くの住民の命が救われました。釜石市鶴住居地区には高校がなく「水害の避難は中学生が一番よく知っている」と言われるほど災害時の避難について住民を守るよう真剣に取り組んでいます。

XI 率先避難者たれー真っ先に逃げる人となる

学校や職場では避難訓練が実施されていますが、実際に洪水、津波等の災害が迫った場合、日頃の避難訓練を思い起こし、自らが率先し「津波が来るぞ！避難場所まで逃げよ

う！」等と声をかけて皆を励ましながら避難する率先避難者になることも大事な行動です。率先避難者が避難を呼びかけることで発生している事の重大さを正しく認識させられるので、周囲が避難を始められ、結果的に多くの命を救うことができます。（以下、次号）

※1「避難情報に関するガイドライン」：2021年5月 内閣府（防災担当）（2022年9月更新）2019年10月の台風第19号で108名の犠牲者が出たことを受け、避難のタイミングをより明確にするよう改訂。

※2「避難行動判定フロー・避難情報のポイント等を記載したパンフレット」：内閣府（防災担当）

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf

参考文献等

・「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」2005年1月 国土交通省

・「災害対策基本法等の一部を改正する法律の概要」2021年5月 内閣府（防災担当）

https://www.bousai.go.jp/taisaku/kihonhou/pdf/r3_01_gaiyou.pdf（概要版のURL）

・「避難情報に関するガイドライン 別冊」（2021年5月）内閣府（防災担当）

・「避難情報等について（スライド形式）」（2022年6月）内閣府（防災担当）

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/220616_hinan_guideline_2.pdf

・「災害時の心理と行動」（東北大学災害科学国際研究所 邑本俊亮教授）

https://www.soumu.go.jp/main_content/000356253.pdf

・「知ってほしい！避難の妨げになる 正常性バイアス 同調性バイアス」（日本赤十字社 ACTION 防災・減災）

https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20210901_020612.html

草の根環境学習

～クローバーの園～

私の勤務する公共施設では、春の気配を感じるやいなや一斉に野草が芽を出し、花を咲かせます。ナズナの白、ホトケノザの赤紫、タンポポの黄色、オオイヌノフグリの青など、地味に桜と競っているかのようです。カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ノゲシ、続いてキュウリグサも可愛い花を付けます。

反面、草との戦いも始まります。建物前の芝生の半分が、ついに繁殖力旺盛なシロツメクサ（マメ科シャジクソウ属の多年草）に取って代わられてしまいました。春になるとシロツメクサが繁茂し一面を覆いつくします。私はそこを「クローバーの園」と呼んでいます。

ぽぽぽと白い花が開いてくると、私は花を摘んで、それを編みたくてうずうずしてきます。子どもの頃、学校からの帰り道、シロツメクサの花を1本ずつ摘み、長く長く編みながら帰宅した記憶が心を動かすので

す。手が編み方を覚えています。花を編んでクローバーの冠を作りました。それを女の子の頭にそっとのせると、にっこりとうれしそうな野原姫の誕生です。

施設にやって来た小さい子が花を摘んでいる姿はとても微笑ましく、うれしくなります。花を編んでいるお母さんもいます。お父さんと一緒にテントウムシやバッタを見つけ、歓声を上げる幼児

がいます。四つ葉のクローバーを探す小学生がいます。クローバーの園は大人にとっては癒やしの場。子どもにとっても直接自然に触れ体験することができる身近な場所です。

ここでのひとときが原体験となり、自然を愛する大人に成長してほしいと願わずにはいられません。



手にいっぱいの花を摘む幼児



クローバー冠

礪貝 はるみ



身近な仲間たち～マンサク～

樋口 祐子

2 月中旬の尾張旭市の森林公園ではマンサクが満開で、黄色の可愛らしい花を咲かせ、いち早く春の訪れを告げています。

マンサク科マンサク属。日本固有種（日本にしか生息しない生物のこと）。山地に生える落葉小高木です。黄色の花が数個集まって咲き、いい香りがします。花びらは変わっていて、細長い長方形型で 1 つの花に 4 枚あります。花の形がおもしろく、花の少ない時期に咲くので、庭にもよく植



えられます。名前の由来は他の花に先駆けて、早春の寒いうちに「まず咲く」ので「マンサク」、あるいはたくさんの花をつけるので「豊年満作」の「マンサク」ともいわれます。

いつも思うのですが、早春に咲く花は黄色が多いようです。マンサクの他にもサンシュユ、ロウバイ、トサミズキ、レンギョウ、キブシなどがそうですね。

現代化学史考 (29) 廣田襄*著「現代化学史」を読んで 2.現代化学の誕生とその発展～17 (20 世紀初頭より)

森田 登喜子

3 月 27 日理化学研究所は国産初の量子コンピューター (93 号参照) の始動を発表しました。量子コンピューターは、量子の世界で発現する「量子重ね合わせ」という不思議な現象を利用しています。この「0 と 1 の重ね合わせ状態」を用いて並列計算*1 を行うことで、従来の「0 と 1 の組み合わせ」を用いるコンピューターとは桁違いの計算能力が発揮されます。新薬の開発、金融予測等ビッグデータの解析に大きな期待が寄せられています。

20 世紀、量子力学の精神は文化全体に大きな影響を及ぼしました。電気産業の飛躍的發展なかんづく半導体開発により私たちの生活は大きく変わりました。今後も異次元の生活変化を起こすことになるでしょう。今号でも、20 世紀前半に量子力学・化学の成立に尽くした天才的な学者たちが、政治に翻弄されながら激しく交錯する姿を振り返り、また量子論をもう少しさらってみます。

プランク、ハイゼンベルク、シュレーディンガー、アインシュタインときら星のような天才が築いて来た量子力学ですが、やはりニールス・ボーアの「量子力学の父」としての大きな力無くしては語れません。

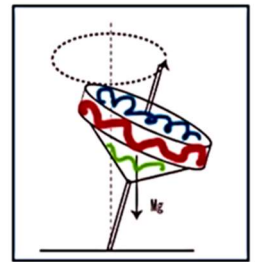
ボーアは 1885 年コペンハーゲンの裕福な大学教授の家に生まれました。1911 年コペンハーゲン大学を経てマンチェスター大学の憧れのアーネスト・ラザフォードの下に行きました。1913 年ラザフォードの原子模型に量子仮説を導入した理論を発表しました。ラザフォードとは議論になりましたがボーアは自説を曲げず、「ボーアと簡潔との闘い」と頑固ぶりを言われました。この理論は当初冷視されましたが、アインシュタインは賞賛しました。

空間の量子化

空間の量子化とは何のことでしょう？ニュートン力学で説明できる可視的な人の生活では想像もできません。しかし、極小粒子の世界では量だけでなく空間も量子化されます。粒子はどのような空間にでもいることはできず、特定の空間にしか存在できないのです。

この動きはコマを回すと分かり易いです。多くの場合、コマの軸は垂直ですが、軸が傾いた状態で回ります。この場合、コマが回り続けるだけでなく軸も傾いたまま回転して、いわゆるすりこぎ運動を始めます。これを歳差運動と呼びます。

空間の量子化は、通例歳差運動で説明されます。つまりコマの傾きは連続的に変化する連続量ですが、量子化された世界では、例えば 10 度、20 度、30 度などに限定されているのです。これが空間の量子化です。この例では、コマの軸の角度は量子数 n によって $10n$ 度に量子化されています。



コマの歳差運動
M:質量

1921 年第 1 次世界大戦後母国でコペンハーゲン大学物理化学研究所 (ボーア研) を設立しました。ニュートリノのウォルフガング・パウリや行列式で量子力学を確立したヴェルナー・ハイゼンベルク、日本の仁科芳雄、放射場の

原子・電子雲

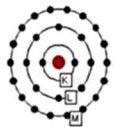
原子は非常に小さく直径 10^{-10} m のオーダーです。現代技術となったナノテクのナノメーターは 10^{-9} m ですからいづれの極小さも推測できます。原子の大きさを実感するためには 1 円玉と日本列島の大きさの差を想像すると良いでしょう。

原子は雲でできた球のようなものと言えます。雲のように見えるのは電子雲であり、複数個の電子からできています。電子雲の中心には密度の大きい小さくて重い原子核があり、その大きさは原子直径の 1 万分の 1 です。原子核は陽子と中性子を持ち、陽子のみ +1 の電荷を有します。電子は -1 の電荷を有し、質量数は 0 です。

空間の量子化は、電子雲が特定の形に限定されていると考えてみます。つまり電子は量子数によって限定された特定の空間にしか存在できず、この限定された空間が電子雲です。雲のようになるのは電子が粒子と波動の二重性を持つことにより、その形は量子数によって独特の形になります。私たちに馴染みの深い電子軌道は、「ある一定のエネルギー準位をもつ電子が存在する可能性のある範囲を表わしたもの」と言えます。この電子雲の中に電子が確率的に存在しているというイメージで「電子軌道」が説明できます。図に Na の電子軌道を示しましたが、さらに大きな原子には N~P 殻が存在します。

Na の場合

総電子数: 11 個
K 殻(定員 2): 2 個
L 殻(定員 8): 8 個
M 殻(定員 18): 1 個



量子論のポール・ディラックら錚々たる学者が研究所の自由な精神の下で討論し、各々の研究スタイルで成果を上げ

ました。ボーアは 1922 年「原子構造とその放射に関する研究」でノーベル物理学賞を受賞しました。1927 年、ハゼンベルクとともに臨んだソルベー国際会議では「電子の位置と運動量の不確定性」についてアインシュタインと大論争になっても譲らず、最後にアインシュタインは「神はサイコロ遊びを好まない」と言って終えたそうです。その後「不確定性原理」の正しさが証明されました。(94 号参照)

第 2 次世界大戦では原爆開発のためナチスに狙われ、レジスタンスに援助されて漁船でスウェーデンに逃れ、さらにイギリスの諜報機関が小型爆撃機でイギリスに逃しました。ロスアラモスの原爆開発に疑問を呈し、核の情報公開、国

際管理、平和利用を主張したため米英の指導者に嫌われ、ヤルタ会議ではチャーチルが「ルーズベルトも私もボーア教授には困っている」と言ったそうです。ヒロシマ・ナガサキの原爆投下を悲しみ、晩年まで原子力の平和利用に尽くしました。素晴らしいコペンハーゲン精神を築き、「矛盾があるということは素晴らしい、それでこそ理論は進歩することができる」という言葉を残した偉大な量子力学の父でした。

* 廣田襄 京都大学名誉教授 (化学・物理化学専攻)

*1 並列計算とは、複数の計算装置 (プロセッサや計算機) が協調して 1 つの処理を同時に高速で行うことを言います。

山口周「武器になる哲学」読後感

一江 輝夫

著者は経営コンサルタントで、クライアントとの会議で哲学や心理学や経済学のコンセプトを目の前の状況に当てはめて考えてみると、霧が晴れるようにモノゴトの見通しが良くなるそうです。その中で、修羅場を切り開くのに特に有効だった 50 のキーコンセプトを紹介している書籍です。ごく一部を紹介しますが、どの章も知恵の空白が埋まる思いです。

・小学低学年は誕生月の早い子供ほど運動能力や知的能力が優れている。これは当然でしょうが、この傾向はその後も続き中学 2 年生の国際学力テストの結果も誕生月が早いほど能力が高い傾向にある。周囲が早い段階で人の能力を見限る傾向があるということですね。

・中国共産党が捕虜を洗脳する方法ですが、「共産主義に

も良いところがある」とメモに書かせ、タバコや菓子といった軽い褒美を与えます。もし高い報酬なら、それにつられて書いたと言えますが、軽い褒美のため自分の意思で共産主義に少し賛成の意思表示をしたと錯覚するそうです。給料の安い職場に長く務めると、その仕事が好きだと思込む？

・人類史上でも類を見ない悪事のアウトシュビッツは大量虐殺の業務を意図的に分断し、運搬だけ、ガス室に押し込むだけ、バルブを開くだけ、というように個人の責任範囲を狭くすることによってハードルを下げた。その状況の中で自分だったら拒否できるか。有名なミルグラム実験 (別称: アイヒマン実験) *1 を知らない人は検索してみてください。

*1 <https://ja.wikipedia.org/wiki/ミルグラム実験>



環境活動ひとつまみ その 25 〈戦争に思う 第 2 回〉

出口 知子

...今回の原稿は、1 年前の続編になる。書くことになるとは思わなかった。...本当に悲しい。

各地で戦争が、残酷と悲しみが止まらない。...そして戦禍・戦略下での無制限な環境破壊。阻止出来ないのは何故だろう。

前回の世界大戦時、環境保全の意識はない。しかし今、地球環境が危機的状況だとわかっているのに、旧式な価値観のまま、前より凶悪な兵器で力を誇示する動きが加速する。

何もない海上、遭難しかけた船一隻、限られた水・食料・居場所、権力を奪おうと「船を壊すぞ」と脅す乱暴者に「壊してみろ、お前も終わりだ」と応戦している。

...人工知能もアホ過ぎて回答を拒否しそう。

環境問題で人がやっと学んだこと。一度壊した環境や健康を元に戻すのは大変なこと、一度絶滅した生命体を復活させることは出来ないということ。仮に遺伝子技術で復活

させても、その生き物の生息環境を継続的に再現・維持出来なければ生きられない。生命体と環境は一体。人も、だ。

自然災害のみなら、時間がかかっても戻ることもある。しかし化学物質や放射能汚染は自然では回収がつかず、人手と高度な技術を投じてでも回復困難なのは経験済みのに...

今の技術、ばら撒いた地雷がスマホアプリで確認出来るとか、自動解除するとか出来ないのだろうか？武器製造販売会社も、大金儲けするなら戦争後・破壊後も考えて欲しい。守るためならともかく、生命を奪い、環境を破壊するだけの迷惑なものが高額なんて変だろう。

私の怖いものは？農地壊滅イノシシ、畑でばったりマムシや百足、怒ってるスズメバチ！

地球上で最も危険な生物は？戦争起こして他人にやらせる...立派な服のあの人達です！！

新しきウイルスに合う

～この星にホモサピエンスの生命永かれ～ VIII

《ウィズコロナの世界 3 》

森田 登喜子

満開の桜の下に満杯の花見客が集い、誰もマスクをしていないテレビ映像に目が釘付けになりました。日本のウィズコロナ政策も本格的になったようです。感染者の増減、

ワクチン接種の状況、マスク着用など COVID-19 に関する変化の実情を知りたいと思います。

まず国内の感染者数の推移ですが、変異株 BA.5 による

第 7 波が下がりきらないまま 10 月には感染者数は再び上昇に転じました (図 1)。病因は変異株 BA.5 が 7 割で、新たな BQ.1、BA.2.75 の影響は拡大していませんでした。しかし、死者数の増加は第 7 波を超えました (図 2)。この矛盾は、すでに昨年 9 月から感染者の届け出が全陽性者を対象とせず、高齢、妊娠、重症、重症化リスクの重点対象者に限ったためと推測されます。それ以外の軽症、無症状感染者による母数の拡大は把握されておらず、死亡者増から推測する以外にありません。しかし、



図 1 15 ヶ月間の国内感染者数推移 厚労省

増進作用が本質的に有効だとしても、個々人に違いのある複雑な免疫系に対して安全に作用するばかりでないのはやむを得ないことです。当然接種の選択には不安と迷いがつきまといまいます。国も医療機関も個人

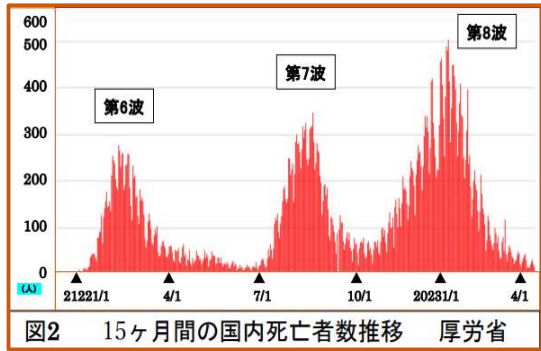


図 2 15 ヶ月間の国内死者数推移 厚労省

幸いなことに 2 月に入って感染者も死亡者も急速に減少し始め、現在は感染初期に近づきました (表 1)。

感染者数	重症者数	死者数
7,079人	56人	15人
累計 33,523,927人		累計 74,096人

世界全体でも、先号まで参照しましたジョンズ・ホプキンス大学発表の感染者数は現在急速に減少しています。そのデータが、ロシアのウクライナ侵攻の影響などを正確に反映しているのかどうかは確かではありませんが、現在大きな感染爆発の声は聞こえてきません。世界全体で、ワクチン接種や集団感染の効果があつたと判断されております。中国のゼロコロナ政策も大きな反対デモで取りやめられ、もはや世界はウィズコロナ一色になりました。

とはいえ、世界が COVID-19 との共存で立ち向かわなければならない問題は山積しています。医療面では、まだ特效薬やワクチンの開発を続けなければなりません。また、いろいろと報告のある感染後遺症の実態を明らかにし、治療方法を確立しなければなりません。ワクチンの副反応も問題です。

昨年急速にワクチン接種の進んだ日本では、最近接種に対する国の説明が変わりました。第 8 波に向けて国は 5 回目の接種、ことに 9 月からはオミクロン変異株 BA.1 対応型/BA.4-5 対応型の 2 価ワクチンの接種を進めてきました。10 月 24 日からは幼児への接種も開始しました。ワクチン接種は順調に進んだように見られました (表 2)。その効果が第 8 波を収束させた一因かもしれませんが、正直なところ私は 4 ヶ月しか間を置かない 4 回目の追加接種には疑問が拭えませんでした。結局 5 ヶ月の間を置きましたが、19 ヶ月間で 5 回の接種を受けたことになりました。素人考えですが、これだけ矢継ぎ早のワクチン接種が免疫系に与える影響は大丈夫でしょうか？私の疑問に呼応するかのよう、3 月 29 日 WHO が「新型コロナワクチンの接種指針改定 健康な成人に『追加接種を推奨しない』」旨を発表しました。「ワクチンの効果と感染や重症化不安を勘案して判断しなさい」ということでしょうか、やはり接種推進一色だった国の方針に疑問が投げかけられたことになりました。さらに、かねてからワクチンの副反応について訴える声も多く、強い反対派も存在しています。ワクチンの免疫

のいずれも、これからも新型コロナウイルスに対して難しい判断を続けなければならないでしょう。

なお、ウィズコロナの決定打として 5 月 8 日から COVID-19 は感染症法*1 で現在の 2 類から 5 類へ移行されます。それにともない、各種の政策・措置が見直されます*2。主なものとして一般的な医療機関での受診が始まり、マスクの使用は個人判断になり、感染の届け出方法も変更されます。またワクチン接種についても検討がなされていますが、必要な場合の自己負担無しは続けられます。はっきりしているのは、政府および地方自治体の「新型コロナウイルス感染症対策本部」が廃止され、関連の特措法による措置が無くなることです。「新型コロナウ

表 2 日本と世界のワクチン接種回数 (累計)



むを得ないことです。当然接種の選択には不安と迷いがつきまといまいます。国も医療機関も個人

のいずれも、これからも新型コロナウイルスに対して難しい判断を続けなければならないでしょう。

なお、ウィズコロナの決定打として 5 月 8 日から COVID-19 は感染症法*1 で現在の 2 類から 5 類へ移行されます。それにともない、各種の政策・措置が見直されます*2。主なものとして一般的な医療機関での受診が始まり、マスクの使用は個人判断になり、感染の届け出方法も変更されます。またワクチン接種についても検討がなされていますが、必要な場合の自己負担無しは続けられます。はっきりしているのは、政府および地方自治体の「新型コロナウイルス感染症対策本部」が廃止され、関連の特措法による措置が無くなることです。「新型コロナウ

イルス感染症」という名称も「コロナウイルス感染症 2019」に変更されます。「新型」の付記を止めることで特別感を無くし、平時への移行を進めるのだそうです。

もともと COVID-19 は「Corona Virus Infectious Disease, emerged in 2019」に由来する WHO の正式名称で新型の意味はありません。むしろ日本では命名に言霊の力を信じて注意を喚起したのです。

COVID-19 は、病気の元として一般にはあまり細菌と区別されずにいたウイルスへの関心と呼び覚ましました。生物か無生物か、その起源は生物（細胞生成物）の細胞前の姿の名残あるいは細胞の一部の変形か、ヒトの遺伝子に大きな影響を与えた、生体内外のあらゆるところに存在して

いる、あらゆる生き物や物質に関わることにより環境や気象にさえ影響を与えている等々、ずいぶんいろいろな知識が共有されました。これらの事項にも触れたかったのですが、今号もまたウィズコロナの実情を記録し続けるのに終わりました。(2023 年 04 月 10 日記)

*1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

*2 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について」令和 5 年 1 月 27 日 新型コロナウイルス感染症対策本部決定
kjhon_r2_050127.pdf (kantei.go.jp)

編集後記

(森田 登喜子) 迷いつつ マスクを取れば

ナンジャモンジャの花が降る コロナ世の春

(樋口 祐子) 私にとっては、桜は入学式の花でしたが、近頃はずいぶん早く咲きますね。

そのうち私のふるさとの青森県がみかんの産地になるかもしれません。

(説田 育正) 社会活動でのデジタル化が進んでいます。会報編集作業の多くはリモートワークです。

確かに合理的で便利ですが、アナログ時代の温かみは残しておきたいものです。

(野田 珠生) 7, 8 年前に元職場の友人たちと訪れた江南市の曼荼羅寺で求めた藤の苗木が大きくなって我が家の藤もたくさんの房を付けました。春に次々と咲く花を眺めていると心が安らぎます。新型コロナが終息して元通りの生活に早く戻れるよう願っています。

(磯貝 はるみ) コロナもようやく落ち着きました。このまま日本人がマスクを手放せない国民にならないようお願いいたします。

(深谷 百合子) 「クローバー（シロツメクサ）の葉の形を書いてみて」と言われ、私が書いたのは……。 「カタバミ」の葉でした。知っているようで知らないものですね。たまには身近な草花を観察してみようと思いました。

(古賀 正輔) 3 月末から 4 月末にかけ、平和公園や山崎川の桜、ウグイスの声を聞きながら近所のツツジやチューリップ、曼荼羅寺の藤棚と、術後の眼には最高の良薬、眼福のときを過ごしました。ただ、コロナへの恐れ、過酷な戦争への悲しみは癒えません。早い終焉を願うばかりです。

編集 G より: 会報 89 号から電子版 (カラー) のメール配信が標準となりました。紙会報 (白黒) の配送を希望の方は奥付に記載の宛先へ FAX またはメールでご連絡下さい。「会報へのご寄稿」と「編集へのご参加」を待っています。

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会報第 95 号

題字は佐藤正光氏揮毫

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会

〒453-0041

名古屋市中村区本陣通 5-6-1

地域資源長屋なかむら 201

発行日 2023 年 5 月 9 日

編集: 森田、樋口、説田、野田、磯貝、深谷、古賀

HP: <https://sites.google.com/site/npoaeca1/>

E-mail: npo.aeca.npo@gmail.com

TEL&FAX: 052-471-7477 (電話は月～金曜)

郵便振替: 00810-0-118938